

『紡ぐ』

2021.12.15 第33号

発行 教育相談室「あした塾」



田の神様のおもてなしをする森川さん

田の神様のおもてなしをする森川さん
田の神様の「あえのこと」は稲作を守る「田の神様」を祀り、感謝を捧げる農耕儀礼です。1976年に国指定重要無形民俗文化財に指定され、2009年には「ユネスコ」の無形文化遺産に登録されています。
穴水町では、唯一、この文化を受け継いでいる藤巻の森川祐征さん(82)が「あえのこと」を行います。昔は多くの稲作農家がそれぞれの形で「あえのこと」を行っていたそうですが、この伝統行事が「行為伝承」(子が親の仕事を見て自然に覚えていく)であったため、稲作をやめたり、後継者が居ないということも、現在の状況になっているようです。森川さんの妻、美恵子さん(78)は「お父さん、歳も歳だし、今年、どうするのね?」と問うと「国指定のことだから、体が動く間は続けたい。」と話していると教えてくれました。森川さん自身も「後は、後の人がやるでしょ。」と話していますが、後継者を見つけることは、やはり難しい問題です。

また、このような行事をするためには、2〜3日前から、地域の人や家族の力を借りながら準備をしていくため、これも大変であるとのこと。今日は自分の研究のためということで、千葉県や滋賀県から見学に来てくれたが、熱心に話を聴いたり、こまめに撮影をしてくれていた。



(千葉県から)

「あえのこと」とは...

「あえ」は「もてなし」
「こと」は「祭り」

を意味するそうです。

1922 あえのこと 無形文化遺産

一年が終わろうとする12月5日、古くからの奥能登地域(輪島市・珠洲市・能登町・穴水町)に伝わる伝統行事「あえのこと」が各地で行われました。

この「あえのこと」は稲作を守る「田の神様」を祀り、感謝を捧げる農耕儀礼です。1976年に国指定重要無形民俗文化財に指定され、2009年には「ユネスコ」の無形文化遺産に登録されています。

穴水町では、唯一、この文化を受け継いでいる藤巻の森川祐征さん(82)が「あえのこと」を行います。昔は多くの稲作農家がそれぞれの形で「あえのこと」を行っていた



田の神様をお迎えに
向かう森川祐征さん



(写真は北国新聞より)

遠藤!

九州場所。西前頭4枚目で臨んだ穴水所出身の遠藤関は、千秋楽で魁聖

を破り8勝7敗と勝ち越しを終えた。来場所以降、枚調を上げていき、場所も穴水所も大いに盛り上げてほしいものです。同じく穴水所出身の序二段東27枚目の大翔も4勝3敗で勝ち越しいます。



12月議会から

穴水町の12月議会は12月10日開会しました。今期を引退することを表明している石川登雄町長にとっては最後の議会となりました。



6日の一般質問では、各議員とも質問の際、町長を勇む言葉を添えていました。4期16年になります。お疲れさまでした。なお、新しい町長を選ぶ町長選挙は来年1月18日告示、23日投票開票を行います。

各議員の一般質問は

大中正司議員 「学校施設建設の検証」「町立学校の統合や運営形態」「風力発電事業」について

湯口やをる議員 「男女共同参画推進の成果」「子育て包括支援センター」「高齢者の外出支援」「地元高校への支援対策」「安全な生活道路の確保」について

小泉一明議員 「自転車ヘルメットの購入助成」「役場の再任用職員」について

小坂孝純議員 「かぶ」清司、きびだにごみ処理施設建設、多産化「農業対策」「子ども陸上教室」について

佐藤 豊議員 「トヤ・高原ソーラー発電工事と汚泥水問題」「結婚生活支援事業」について

- *傍聴者は報道関係を含め6名でした。
- *町長、教育長、福祉局長、宮下課長、荒木課長、吉田課長、森下課長が答弁に立ちました。
- *この12月議会から議長は山本孝議員に。また、最終日、副議長に湯口やをる議員が。

することにしています。また、吉村光輝議員が議員辞職をし、ため、議会議員の補欠選挙も同時に行われることとなります。

学校統合は？

学校の統合やその運営形態（小・中別、小・中一貫など）については大中正議員が質問しましたが、現在、新校舎建設候補地の検討を進めており、運営形態等の方向性が決まれば、地域や保護者に説明していく予定です。注視を。



（写真は北国新聞より）

風力発電

佐藤議員が取り上げたトヤ・高原のソーラー発電所はとてつもなく巨大です。汚泥水、海洋汚染の問題の他、災害への備えも考えなければいけません。また、大中正議員の取り上げた風力発電も無関心でははいれません。生態系や生活環境に影響がでてきます。北国新聞のリレー連載「増える風力発電」は必見。このままでは、能登半島は「風車とソーラーの半島」になりかねません。驚く量です。画面前には目を奪われるほど美しいのです。



お知らせ 能登トキマツクラブは来年1月8日（土）に「トキ能里を思うシンポジウム」を計画しています。